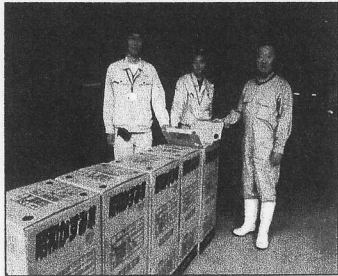


プロジェクトミニ情報誌
vol. 47

カスミノウ、本格出荷へ向けて

5月31日初出荷、生育順調

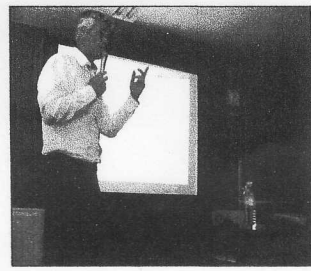


5月31日昭和村の生産者が会津美里町本郷地区で作っているカスミノウの初出荷を迎えました。会津みどり農業協同組合のかすみ草専門部会のカスミノウが「昭和のかすみ草」として、東京の花市場に出荷されました。

6月14日～15日の「巡回相談会」は、各集落で行われ、会津坂下農業普及所金山普及所長谷川先生から、これからの天候や、病虫害防除の話がありました。生産者の方からは、自分のカスミノウの状態の相談等がありました。昭和村で生産されたカスミノウは、6月15日に初出荷を迎え、今後、11月まで、全国の市場に出荷される予定です。

世界でカスミノウをつくっている国は、エクアドル、イスラエルなどの国が生産していること、日本は栽培面積では、エクアドルに次いで第2位であることを改めて知ることができました。また、他の国では、1株から2

6月9日（木）昭和村花き振興協議会の第1回学習会として、ドイツにある種苗会社セレクト社のアジア地区エリアマネージャーのリチャード氏を講師（通訳・深水孝明氏）に迎え、「国外のカスミノウ生産の現状とセレクト社の新品種」という内容で講演会が開催されました。



編集・発行
昭和村産業建設課
地域営農活性化
プロジェクトチーム

電話57-2117
FAX57-3044
E-mail:sangyou@vill.showa.fukushima.jp

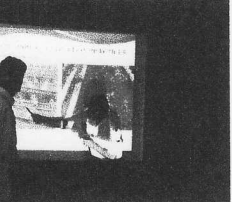
回く2、5回花を収穫するなど、世界のカスミノウの情勢を聞くことができました。海外では、環境に配慮した栽培方法や衛生管理、商品を長持ちさせる収穫後の処理技術の説明もありました。

また、セレクト社のパールシリーズという新品種についても説明があり、生産技術についても、いままでの昭和村での栽培方法とは異なる技術について話があり、参加した方からは、「大変参考になった。昭和村でも使える技術は試してみたい」などといった海外の技術を取り入れようと、意欲的な感想が多く聞かれました。

昭和村花き振興協議会では、日本一の昭和村のカスミノウを今後も維持していくために、これか

6月22日（水）カスミノウあぜ道指導会
午後2時半～3時半
矢ノ原給水所集合
内容「今後の病虫害防除とダブルピンチについて」
講師
会津坂下農業普及所金山普及所長谷川浩先生

7月2日（土）は、昭和村花き研究会で今年も会津若松市にある、ヨークベニマル一箕町店で、「カスミノウフェア」を開催する予定です。午後3時頃に昭和村長が店頭にあたり、消費拡大のため宣伝を行う予定です。予定



1 農地の貸し借りには手続きを行います。農家の皆さんが所有する農地の貸し借りするには、農業委員会の許可を受けなければなりません。自分の農地だからといって許可を受けずに貸し借

2 農地を相続したときは、農業委員会へお届けください。相続などにより農地の権利を習得した場合は、農業委員会に届出が必要です。相続登記が確定した時点で、権利を取得した方が届出書を提出してください。

りすることは法律上、認められていないので、公的に保証されません。また、農業者所得補償制度などが交付対象とならなくなる恐れもあります。なので、注意してください。なお、農地貸し借りの手続きは、役場が間に合って申請書作成などを行いますので、手続きも簡単です。さらに、貸した農地は期限が来れば、解約の手続きをしなくても自動的に貸した人に戻ってきます。（農地を返してもらえなくなる心配がなくなるので、安心です。）また、借り手は、更新の手続きをすることにより、継続して借りることもできます。